

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和3年12月17日（金）10時35分～12時05分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

知見主任安全審査官、新井安全審査官、小西係長、高木係長、横山係長、

久川係員、高木技術参与

福島第一原子力規制事務所

松本原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当8名（テレビ会議システムによる出席）

## 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
  - 汚染水対策スケジュール、水処理設備の運転状況・運転計画、福島第一原子力発電所の滞留水の水位について
  - 陸側遮水壁測温管 150-7S の温度上昇に伴う調査計画について
    - ✓ 陸側遮水壁の測温管 150-7S の温度上昇について、近傍を交差する K 排水路内に地下水が流入する過程で陸側遮水壁の凍結範囲の一部を融解させている可能性があることと推定していることから、当該測温管の外側（地下水の上流側である山側）に試験的に止水壁を設置して地下水の流入を抑制することとし、本年12月6日～13日に止水壁として8本の鋼管を設置した。
    - ✓ 鋼管設置による測温管温度や K 排水路の湧水量等に明瞭な変化が見られないことから、止水効果をさらに高めるため、12月17日から鋼管山側へ鋼矢板の設置工事を開始した。
    - ✓ 現状、陸側遮水壁の内外水位差が十分に確保されていること、サブドレンの汲み上げ量のトレンドに有意な変化がないことから、遮水性は確保していると評価している。
  - 3号機原子炉建屋1階床面穿孔の作業開始について
    - ✓ 3号機原子炉建屋内では、主蒸気隔離弁（MSIV）配管貫通部から原子炉格納容器（PCV）の冷却水が漏えいしており、原子炉建屋1階に溜まった漏えい水は、床ファンネルを通じて、地下階の南東三角コーナーへ流れ込み、仮設ポンプにてトラス室へと移送している。
    - ✓ 本年3月9日に、床ファンネルが詰まり、水溜まりが北東三角コーナーまで広がって、北東三角コーナーの水位を上昇させた事象が発生したため、再発防止対策として、1階床面を穿孔し、床ファンネルを経由せずに、直接、本設ポンプが設置してあるトラス室内へ排水可能となるようにする。
    - ✓ 作業は、MSIV 室外側上部の原子炉建屋2階の空調機室から、2段階穿孔にて穿孔を実施する。また、漏えい水を穿孔箇所へ導くために堰を設置するとともに、穿孔箇所からトラス室内水面付近までの導水管を取付ける。
    - ✓ 本年12月中に床面穿孔作業を完了し、堰及び導水管の設置を来年1月中に完了させる予定である。
  - 再利用タンクの汚染低減対策について
    - ✓ ストロンチウム処理水等貯留タンクから多核種除去設備（ALPS）処理水等貯留タンクへの再利用を進めているが、除染せずに再利用したタンクにつ

いては、タンク内に残留する放射性物質の影響により貯留水中の放射性物質濃度が告示濃度比総和 1 を超える結果となっている。

- ✓ 再利用タンクのうち、内部の汚染度の高いタンク（以下「分類③タンク群」という。）については、除染が困難であるため、告示濃度比総和を低く保つための対策として、二次処理が必要な「告示濃度限度比総和 1 以上の処理途上水」を分類③タンク群（H8-B 群、J1-B 群）へ移送し、空になった移送元のタンク（H1-C 群、J1-E 群）に ALPS 処理水を受入れることで、移送元タンク群の告示濃度比総和を 1 未満にする。なお、移送後の分類③タンク群については告示濃度比総和が 100 超になると想定している。
  - ✓ 当該水移送は、来年 1 月からの開始を計画している。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を行った。
    - 水処理設備の運転状況・運転計画について、多核種除去設備等の点検停止の理由を分類分けし、それぞれ年間での停止期間を説明すること。

## 6. その他

資料：

- 汚染水対策スケジュール（2021 年 11 月 25 日現在）
- 水処理設備の運転状況、運転計画（2021 年 12 月 3 日～2022 年 1 月 6 日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2021 年 12 月 3 日～2021 年 12 月 16 日）
- 福島第一原子力発電所 陸側遮水壁測温管 150-7S の温度上昇に伴う調査計画について
- 3 号機原子炉建屋 1 階床面穿孔の作業開始について
- 再利用タンクの汚染低減対策について